

週刊 女川湾海況速報 (No.32)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

2 月 25 日から 3 月 1 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で下降。経時的には 27 日と 28 日に全層で上昇し、それ以降は 7℃以上を維持。塩分は先週と比較して表層（0m）で下降したが、底層（5m）では上昇。経時的には 27 日と 28 日に表層で上昇。27 日と 28 日の水温と塩分の上昇は気温上昇と外洋水の影響と推定。

水深 [m]	2月25日 (月)	2月26日 (火)	2月27日 (水)	2月28日 (木)	3月1日 (金)
0	6.8 (33.6)	6.7 (33.4)	6.9 (33.9)	7.4 (34.0)	7.3 (32.4)
5	6.9 (33.9)	6.7 (33.9)	6.8 (33.9)	7.3 (33.9)	7.3 (33.7)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：先週と比較して表層では下降したが、底層では同程度の値を維持。経時的には 28 日に全層で下降。（単位は FTU）

水深 [m]	2月25日 (月)	2月26日 (火)	2月27日 (水)	2月28日 (木)	3月1日 (金)
0	0.7	0.8	0.8	0.6	0.7
5	1.0	1.1	0.9	0.7	0.9

③溶存酸素：先週と比較して全層で上昇し、10mg/l 台を示した。経時的には全層で上昇傾向にあり、鉛直的には水深とともに減少傾向。

水深 [m]	2月25日 (月)	2月26日 (火)	2月27日 (水)	2月28日 (木)	3月1日 (金)
0	10.3	10.6	10.7	10.7	10.8
5	10.2	10.3	10.6	10.7	10.6

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 6.9～7.1℃、33.9～34.0 パーミルの範囲にあった。鉛直的に水温は水深とともに下降傾向にあったが、塩分は上昇傾向。濁度は 0.7～1.5FTU の範囲にあり、底層（20m）で最大。溶存酸素は 9.9～10.4mg/l の範囲にあり、底層で最小。

2 月 27 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	7.1	34.0	1.0	10.4
5	7.0	33.9	0.9	10.4
10	7.0	33.9	0.8	10.2
15	7.0	33.9	0.7	10.1
20	6.9	33.9	1.5	9.9

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。